



東京地区生コンクリート協同組合  
 〒103-0027東京都中央区日本橋3丁目2番5号  
 電話番号 (03) 3271-2181  
 URL: https://www.t-namakyo.jp/  
 発行責任者 高村 尚

## ＝協組の動き＝

### (8月)

11日(金)～20日(日) 夏季休業  
 ※18(金)は年休取得奨励日  
 28日(月) 理事会(No. 1200)

### (9月)

11日(月) 理事会(No. 1201)  
 25日(月) 理事会(No. 1202)



### お子様の作文募集中!

本年も9月号に組合員従業員のお子様の「夏休みの思い出」作文を掲載予定です。皆様、奮ってご応募下さい。締め切りは8月25日(金)です。応募者には薄謝進呈。詳細は、各社総務または組合業務部まで。

# 2023年度 第1四半期出荷実績と今後の展望

## ---出荷状況---

東京協組の2023年度第1四半期出荷実績は、前年比 83.4%、年初計画比 84.3%の 632 千 $m^3$ と前年、年初計画数量とも大幅に下回りました。昨年度下期より、急速に出荷数量が減少しており、未だ回復の兆しが見えません。これは、建設作業員不足により都心部での再開発工事や新規工事で遅れが生じ始めたことによるものと推測されます。しばらくはこの状況が続くとみられ、出荷数量が回復するには時間がかかると思われます。また、6月末の契約残数量は、4,566 千 $m^3$ でした。現状から今後の展開を想定すると、上期の見通しは 1,300 千 $m^3$ 程度と想定しています。下期については、品川地区再開発工事や日本橋・八重洲地区再開発工事向け出荷が最盛期を迎える予定で、年初計画数量で推移するものと思われます。

ところが、現在の出荷数量でも予定が入りにくくなっています。これは、ダミー出荷予定が多くあること、当日キャンセルが多いことで輸送効率が低下しているのが原因です。今後の安定供給確保に備えるため予定精度の向上が不可欠です。ダミー出荷予定の取り消し忘れや直前キャンセルも減少していません。特に、当日の大きな数量減は、輸送力低下に繋がります。現在、登録販売店と調整管理部で予定精度の向上に向け、ワーキンググループを発足し検討しています。現状での精度向上、さらには、将来の予定の在り方も含め、問題点を洗い出し都度対策を講じています

	(出荷数量)		(引合、成約、契残)	
	7月(実績)	8月(想定)	7月(実績)	前年比
大型	199,673 $m^3$	180,000 $m^3$	引合	108,380 $m^3$ 959.5%
小型	28,938 $m^3$	20,000 $m^3$	成約	87,203 $m^3$ 787.7%
計	228,611 $m^3$	200,000 $m^3$	契残	4,356,527 $m^3$ 77.9%
	前年比	前年実績比		
	96.7%	93.2%		
	95.5%	95.6%		
	96.6%	93.5%		

が、需要家様のご協力がなければ難しいと考えています。慢性的な運転手不足のなか、また、車輛購入金額の高騰と納期の長期化や庸車費の値上げなど輸送コストを押し上げる要因は目白押しとなっています。安定供給を果たすためには、運行効率の改善に大きく寄与する予定精度の向上が不可欠であり、ご理解、ご協力をお願いいたします。

## ---市況対策---

セメントの再値上げを受けて2023年4月より 2,000 円/ $m^3$ の値上げをお願いしています。併せて新しい販売契約方式として、販売価格の設定を「出荷ベース」にて「1年間の期間契約」とすることとしております。値上げについては、概ねご理解をいただいておりますが、新しい販売契約方式については、当協組並びに組合員が持続的な発展をしていくために必須であることから、引き続きご理解を得られるよう取り組みを強化してまいります。

## ---持ち帰りコン削減対策---

2014年に戻りコンの有償化制度を導入し、以来、持ち帰りコン(戻りコン・残コン)の削減を目指してきましたが、期待した効果が出なかったことから、残コンについても有償化を本年4月より実施しました。制度を導入して数ヶ月ですが、効果はまだ見られません。本制度についてもご理解を得られるよう取り組みを強化してまいります。

## 遺跡 篠崎 勉



当社の工場は港区港南五丁目に位置しています。工場新設時に行政から「敷地内に遺跡があるのでその部分は触ってはならぬ、埋蔵文化財包蔵地(一部)」と言われました。遺跡は敷地の南西角であったため、設備レイアウトに支障はなく、工場を建設することができました。

この遺跡について、砲台の跡とは聞いていましたが、どのような跡なのか興味をわいたので、今回調べてみました。

台場には一番～七番があり、御殿山下台場も同時にできました。当工場部分には、第一台場(以下、本遺跡)がありました。

品川台場築造の契機となったのは、1853年6月3日のペリー浦賀来航による開国要求であったとされます。この対応に苦慮した幕府は7月に品川台場築造を命じました。

本遺跡は、第二、三台場と共に1853年にいち早く起工され、8ヶ月を要して1854年4月に竣工しました。品川台場工事に使用した資材は、木材は関東各地、石材は相模・伊豆・駿府、埋立の土砂は高輪泉岳寺境内や品川御殿山などの台地を掘削して用いたといわれています。

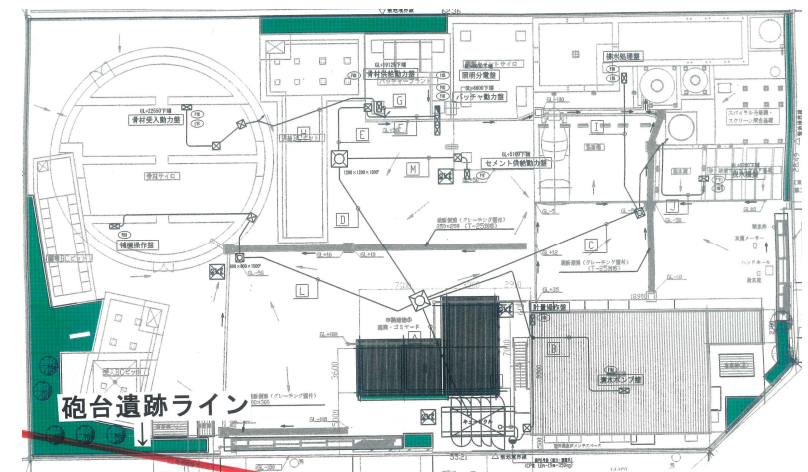
台場は国防のために築造された陣地であり、大砲を設置する場所です。諸外国が開国を強要するなかで、幕末には台場や砲台は全国で1,000基を超えていたといわれています。

その後、本遺跡は昭和26年(1951)に始まる品川埠頭埋立地造成の範囲に含まれ、昭和38年(1963)3月に姿を消しました。なお、品川埠頭の高さに合わせて、上部施設および上位の石垣石のみが撤去され、下位の石垣石・基礎部分についてはそのまま保存されています。

現在、台場(お台場)というと、若者達や家族連れがレジャーを楽しむ場所ですが、紐解いてみると、こんな歴史がありました。

私共は、普段何げなく工場を稼働させておりますが、このような歴史のある土地と知り、今後もそのうえで企業活動を継続して参ります。

(内山コンクリート工業(株) 常務取締役)





### JCI2023九州大会 第30回 生セミナー 参加報告



技術委員会では、7月6日に開催されたコンクリート工学年次大会2023(九州)の第30回生セミナー「サステナブルな生コンを目指して」に、技術研修会として青木理事長以下33名で参加しました。

生セミナーは、第I部「全国生コンクリート工業組合連合会の取り組みについて」と題して原田常務理事のほか、本年4月に開催された生コン技術大会で発

表された論文について大阪兵庫工組、広島協組他4名による講演と、第II部「生コン工場アンケートの概要と報告」として九州・沖縄地区で行われたアンケート結果が報告され、これをもとにパネルディスカッションが開催されました。

アンケートは2015年に同じ内容で調査されており、前回よりクレームは減少しているもののJIS規格を上回る過剰要求は未だ改

善されていないことや、回収骨材や回収水の構造物利用は変わらず少ないとの報告がありました。また、サステナブルに向けた取り組みとして環境負荷低減に特化して調査され、取り組むべき項目として残コン戻りコンの低減が最も多い回答でした。課題は東京地区でも同様ですが処理面で地域差があり、いかに解決していくか考えさせられるセミナーでした。

## 2022年度 コンクリート主任技士 合格体験記

毎年この時期に組合員従業員のコンクリート主任技士合格者の皆様の合格体験記をご紹介します。今回は以下、8名の合格者の方に①合格のための苦労談、会社・先輩のサポートについて、②若い人へ魅力ある職場づくりへの提言、③今後、どのように資格を生かしたいか、という順にコメントをいただきました。



#### 【横山産業(株) 対比地 清さん】

①6月頃から、択一問題・小論文試験の勉強を始めました。1日の勉強時間を少しずつ増やし、8月頃からは1日2時間ほど勉強するようにしていました。勉強時間があまりない日でも、過去に自分が書いた論文を読んで勉強をしない日がないようにし、集中力が途切れないように

#### 【三多摩アサノコンクリート(株) 川上 利裕さん】

①『合格する人の参考書はみんなボロボロになっている。』と上司に言われ、参考書をボロボロになるくらいに通勤時間、休み時間、隙間時間を使って読み込みました。試験当日には、言われた通りにボロ

#### 【(株)多摩 児美川 侑希さん】

①私の職場では、出荷も多く日常業務に追われることから、あまり勉強をする時間がなかったが、会社全体のサポートがあったため、休憩時間や就業時間後に会議室等で勉強できる環境を与えてもらった。



しました。会社や先輩方には通信制のコンクリート主任技士対策講座を受けさせて頂いたり、勉強時間が確保できるように配慮して頂きました。②良い職場環境を作る為にコミュニ



ケーションを取り、良い人間関係を築くことで明るく、働きやすい環境になるように心掛けています。新入社員・若手社員からでも発言・提案がしやすいような職場にしたいです。③コンクリート主任技士合格で満足することなく、更に知識を深め、新入社員・若手社員へのアドバイスだけでなく、諸先輩方の域にまで届くようにしたいです。

また、論文対策として、上司に基本的な文章の書き方と、作成した論文の添削をしてもらい反復練習を行った。②若手社員への教育やアドバイスを積極的に行いながら、資格取得の勉強がしやすい職場の環境づくりに貢献していきたい。③今後、実務経験を積み将来的には職場の中心になれるようレベルアップしていきたい。

ケーションを取り、良い人間関係を築くことで明るく、働きやすい環境になるように心掛けています。新入社員・若手社員からでも発言・提案がしやすいような職場にしたいです。③コンクリート主任技士合格で満足することなく、更に知識を深め、新入社員・若手社員へのアドバイスだけでなく、諸先輩方の域にまで届くようにしたいです。

場環境作りが心掛けていきたい。③コンクリート主任技士を取得したことによって、責任ある業務を任せられると思うので、得た知識を活用して今後の業務に活かしていきたい。

#### 【桐生レミコン(株) 茨田 友広さん】

①半年以上前から終業後に2時間程度の勉強を週に4回は頑張ろうと決め、挑戦しました。先輩方に分からない所を質問



#### 【日立コンクリート(株) 佐々木 直彦さん】

①ここ数年の試験では小論文に苦戦していたので、時間の大半を論文対策に費やした。有資格者の上司の指導のもと、諦めなくなる時もあったが、ここで投げ出したら一生後悔すると思い、書き直しを繰り返し要領よくまとめることを克服できたことが合格に結び付い

#### 【城北小野田レミコン(株) 小泉 光央さん】

①日々の業務に追われ、疲労を抱えながらの中の試験勉強は苦労しました。特に、書き慣れない小論文には大変苦戦していました。そんな



#### 【横山産業(株) 飯塚 英輔さん】

勉強する上で苦労したのは論文だった。普段から文章を書くことがなかったので、最初はどのように書き上げればいいのか分からず、過去問の傾向を分析して、どのように書けばいいかを調べて書いていくしかなかった。

近年の傾向から、環境問題に絡めた出題があると予想していた。そのため、練習として低炭素型コンクリート (ECM コンクリート) や残コン問題に関して詳しく調べ、それぞれのテーマ毎に1000文字程の小論文を書き上げた。また、

#### 【むさしの生コン(株) 平川 哲史さん】

①直属の上司が、昨年主任技士を取得し、その方から親身になって取得にむけての指導をして頂き



しては、終業後に私が理解できるまで教えて頂きました。特に苦労したのは小論文で、試験の3ヶ月前くらいから、1つ書いては次の日に見直しの流れを何度も繰り返しました。②気づけば30歳、若手とは呼べない年齢になっており、新入社員が来た時の職場環境の重要性に気づかされました。若手への指導もそうですが、どんなことに対して

たと思う。②生コンクリートは社会生活の基盤づくりに必要不可欠な建設材料で、日々の業務の中で社会貢献していることを肌で感じさせ、モチベーションを維持・向上できる職場にすることが大切だと思う。③コンクリート主任技士の肩書が加わったことにより、ユーザーへの技術的説明に説得力と責任が増

時、有資格者の上司に相談したところ、ポイントとなるキーワードの書き出し方や、そのキーワードをうまく文章に繋いでいくことを教えて頂きました。それを生かし週末には、一題ないし二題の小論文を書いていました。週明けに上司に添削してもらい、悪い所、良い所のアドバイスを頂き、その繰り返しにより少しずつですが小論文への苦手意識も無くなってい

ECM コンクリートはその年の2月頃に出荷した実績があったので、その辺りの経験も踏まえてまとめるようにした。

本番の試験では、SDGsに関連した問題が出された。17の目標から2つ選択して論文を書くという内容だった。実質2題書くこととなり、最初は頭が真っ白になった。選択問題を解き終わった段階で90分過ぎていたので、残り半分の時間で2題書くのは大変だった。選んだテーマは「つくる責任、使う責任」と「気候変動に具体的な対策を」だった。それぞれのテーマ

ました。苦手な論文の指導も夜遅くまで付き合って頂き感謝しております。取得にむけては、過去問題を中心に取り組みました。論文は「生コンクリートに対するカーボンニュートラル」に的を絞りました。②上司、先輩が私にして下さったように、後輩、新入社員に、技士、

も柔軟な考え方を持つことが魅力ある職場への第1歩だと思います。③資格を取得したからといって、何かが急にできるようになったわけではないですが、「主任技士なんだから、これくらいは出来ない」と自身に発破をかけて日々の業務に取り組めるようにしていきたいと思っています。



した。今後は、これまで以上に信頼して頂けるよう更なるスキルアップに努め、コンクリート診断士の資格取得を目指す。

き、試験当日を迎えることができました。②若手、新入社員には、とにかく楽しく仕事ができ、また資格取得に向けてサポートしていける職場にしていきたいと考えています。③今後もさらに知識や経験を身に付け、お客様に的確なアドバイスを提案できるように、僅かでも業界の発展に貢献していきたいと思っています。

マで残コン問題とECMコンクリートについて書き上げた。書き終わったのは残り時間5分を切ったところだったので、かなりギリギリだった。

今後は主任技士に合格したことに満足せず、品質管理責任者やコンクリート診断士にも挑戦しようと考えている。

主任技士取得に向けて学びやすい環境を作っていきたいとおもいます。③生コンクリートも地球温暖化対策に向けて低炭素型コンクリートの取組が活発化しております。これらの新しい技術を学び、社会に貢献していきたいとおもいます。

